

0. 国グランドデザインの方向性と県次期構想の位置付け

課題

- 2040年には、産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需給ギャップにより、地域の経済社会を支えるエッセンシャルワーカーの圧倒的不足、いわゆる理系人材の不足が懸念されることあり、産業イノベーション人材の育成が重要。また、少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化（2040年には高校一年生が約36%減少）。現状でも約64%の市区町村において公立高校の立地が0又は1であることを踏まえ、地理的アクセスを踏まえた多様な学びの確保が重要。

アドバンスト・エッセンシャルワーカー等 育成支援

- 地域産業や社会・生活基盤を支える分野において、新技術を活用し、生産性の向上・高付加価値化の実現が求められている。
- 技術革新のスピードが加速する時代に適した課題解決能力の獲得に向け、探究的・実践的な学びの積み重ねや深まりのある学びを実現する。

理数系人材育成支援

- 未来成長分野においては、理系高等教育への進学者の割合の増加、高等教育での実践的な教育が求められている。
- 先進的な新たな知を生み出す力を育成するため、理数的素養を身に付けつつ、自ら問いを立て、解決する研究を行う高等教育を見据えた文理融合の学びを実現する。

多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

- 少子化への対応においては、生徒の地理的アクセスの確保を図ることに留意しつつ、多様な人間関係の中で得られる学びを踏まえれば、一定の生徒数の規模を確保した学びを提供することが必要。
- 人口減少地域に、魅力ある学びの選択肢を増やすため、地域の教育資源を活かした学びや遠隔授業を活用した学びの提供を実現する。

県次期
構想
4本柱

専門学科における実践的な学び

- 農業・工業・水産業に係る「基幹校」を設定し、大学や企業、研究施設との連携により、先端技術に関する学びを充実させ、さらにその成果を専門高校間で共有し、全体のレベルアップにつなげる。
- 特に農業・工業分野は、データサイエンスなど、理数系の学びを取り入れ、研究開発、技術開発のスペシャリストの養成を行う「科学技術高校」として位置付ける。
- 水産分野では6次産業化や海洋資源の活用など、地域の特色を活かした学びの機会を提供する。

学力と探究を極め進学力も向上させる 環境の整備

- 生徒が、多様な他者と協働しながら、科学的・学術的に思考・判断・表現し、自らの考えをしっかりと確立させる探究活動を展開するとともに、どの圏域においても、高い進路目標を達成することができる多様な教育活動の実施する。【みやぎフロンティアアカデミー】
- 地域や社会と深く連携しながら、未来を見据えた最先端の学びを提供し、生徒一人ひとりが自身の可能性を最大限に引き出し、社会に貢献できる人材育成に向けた教育体制の構築する。【学術探究エンゲージメントプロジェクト】

オンラインの効果的な活用などによる 教育空間の拡張

- オンラインを活用した学校間連携により、探究学習や専門高校における学びの成果の共有を図り、自校だけでは成し得ない、多様な生徒との交流や対話的な学びの機会の充実を図る。
- オンライン教育センターの設置により、学びの質を確保するとともに、専門的な学びや希望する進路への対応など、生徒の多様な教育的ニーズに応じた教育環境を整備するとともに、県内の学校同士や地域等との連携、海外との交流などについて支援し、学びの機会の一層の充実を図る。

方向性

工業系科学技術高校として「**A高校**」を転換。
農業系科学技術高校として「**B高校**」を転換。
・ 生産性向上など実際の企業活動を視野に入れた実践的な内容を取り入れていく。
・ 最先端の研究開発だけでなく、生産技術、品質保証など、企業活動を下支えできる人材を育成。
「**C高校**」では、気候変動、漁獲資源の減少など漁業を取り巻く状況変化に対応できるよう、栽培漁業を最先端の学びとして取り入れる。

仙台エリアだけでなく宮城県全体での理数系人材の育成を行うため、先導的に取組を行う中部地区の進学系高校（D高校又はE高校）において理数系教科の充実のための環境を整備（教育課程再編、開放型ラボ設置等）した上で、圏域毎に高い学力と探究力を身に付けることを目指す拠点校を4校設置し、5校でピアグループを形成。オンラインによる相互授業展開、参集型合同学習などにより、地元にいながらにして、切磋琢磨し、刺激し合うことができる環境を創出する。

まずは実績のある**F高校**にオンライン教育センターを設置し、リアルタイムの授業配信、コンテンツを蓄積した上でオンデマンドによる学習支援を展開する。
配信規模の拡大に対応するため、**F高校**から設備の移設を含め、別拠点に機能を集約。
オンラインを活用した授業の共同実施として、普通科改革支援事業（新時代に対応した高等学校改革推進事業）を実施している**G高**の取組を**県内普通科系高校で共有・研究**することにより、地域資源の活用方法を学ぶなどして、県全体での探究学習の深化につなげる。

具体策

事業

- ✓ 高校教育改革推進事業（R8当初） 新規

- ✓ みやぎネクストフロンティアハイスクール推進事業(R8当初)

- ✓ クロスキャンパス・ネットワーク構築事業(R8当初)
- ✓ オンライン教育センター施設整備事業(R8予算未計上)
- ✓ 普通科改革支援事業(R8当初)